

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮称)新でしお病院

 用途等で評価が不要となる項目について
 ■は、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
配慮項目							
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境							
1.1 騒音	1 暗騒音レベル		2.5	0.15	2.8	1.00	2.6
1.2 遮音	1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.40	
	2 界壁遮音性能		3.0	1.00	3.0	1.00	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2.4	0.40	2.7	0.40	
	1.3 吸音		3.0	0.40	3.0	0.30	
			2.0	0.60	2.0	0.30	
			-	-	3.0	0.20	
			2.0	0.20	3.0	0.20	
2 溫熱環境			2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御	1 室温設定		3.0	0.50	3.0	0.50	
	3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.57	
	4 ゾーン別制御性		3.0	0.25	3.0	0.43	
	5 照度・温度制御		3.0	0.38	-	-	
	6 空調制御		-	-	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			2.6	0.25	2.8	1.00	2.7
3.1 昼光利用	1 昼光率		1.8	0.30	2.4	0.30	
	2 方位別開口		1.0	0.60	2.0	0.60	
	3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策	1 昼光制御		3.0	0.30	3.0	0.30	
	2 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
	3 照明制御		3.0	0.15	3.0	0.15	
4 空気質環境			3.0	1.00	3.0	1.00	
4.1 発生源対策	1 化学汚染物質	内装材の仕上げ材及び接着剤はほぼ全面F4としている。	4.0	0.50	4.0	0.63	
	2 有機溶剤		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気	1 換気量	自然換気の有効面積が居室面積の1/10以上設けている。	3.0	0.30	3.6	0.38	
	2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33	
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理	1 CO ₂ の監視		5.0	0.20	-	-	
	2 喫煙の制御	館内禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.1
1 機能性			3.0	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ	1 広さ・収納性		3.0	0.60	3.0	0.60	
	2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
	3 パリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	1 広さ感・景観	全居室の天井高は2.5mを確保している	3.0	0.40	3.5	0.40	
	2 リフレッシュスペース		-	-	4.0	0.50	
	3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理	1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
	2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震	1 耐震性		3.0	0.48	-	-	
	2 免震・制振性能		3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	1 車体材料の耐用年数	ALC下地アクリル等吹付材を採用。(補助資料により30年)	3.0	0.20	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.7	0.33	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.23	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水の配管等:B(40年以上)ランクが2種以上使用している	3.0	0.09	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	
			5.0	0.15	-	-	
			3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備	3.2	0.19	浸水の危険性が少ない。又、携帯電話網、館内通信網などの配管を整備している	-	-	3.1
	2 給排水・衛生設備	3.0	0.20		-		
	3 電気設備	3.0	0.20		-		
	4 機械・配管支持方法	3.0	0.20		-		
	5 通信・情報設備	3.0	0.20		-		
		4.0	0.20		-		
3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	3.1	0.29	壁長さ比率: 0.23	3.2	1.00	3.1
	1 階高のゆとり	3.4	0.31		3.4	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	3.0	0.60		3.0	0.60	
	3.2 荷重のゆとり	4.0	0.40		4.0	0.40	
	3.3 設備の更新性	3.0	0.31		3.0	0.50	
	1 空調配管の更新性	3.0	0.17		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	2 給排水管の更新性	3.0	0.17		-	-	
	3 電気配線の更新性	3.0	0.11		-	-	
	4 通信配線の更新性	3.0	0.11		-	-	
	5 設備機器の更新性	3.0	0.22		-	-	
	6 バックアップスペース	3.0	0.22		-	-	
					-	-	
1 生物環境の保全と創出		-	0.30	-	-	-	2.2
		1.0	0.30		-	-	
	2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40		-	-	
		2.5	0.30		-	-	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50		-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	3.1
	LR1 エネルギー	-	0.40		-	-	
	1 建物の熱負荷抑制	3.0	0.30		-	-	
	2 自然エネルギー利用	3.0	0.20		-	-	
	2.1 自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50		-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用	3.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率の熱源機器の採用	ERR=10	4.0	0.30	-	4.0
	4 効率的運用				0.20	-	
	4.1 モニタリング				0.50	-	
	4.2 運用管理体制				0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	-	3.1
	1 水資源保護	3.4	0.15		-	-	
	1.1 節水	4.0	0.40		-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用	3.0	0.60		-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.67		-	-	
	2 雜排水再利システム導入の有無	3.0	0.33		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.63	-	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減	2.0	0.07		-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24		-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20		-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.20		-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.05		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.24	-	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.22		-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避	3.0	0.32		-	-	
	1 消火剤	3.0	0.68		-	-	
	2 断熱材	3.0	0.33		-	-	
	3 冷媒	3.0	0.33		-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	-	2.9
	1 地球温暖化への配慮	3.6	0.33		-	-	
	1 地球温暖化への配慮	2.2	0.33		-	-	
	2.1 大気汚染防止	3.0	0.25		-	-	
	2.2 溫熱環境悪化の改善	1.0	0.50		-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	4.0	0.25		-	-	
2 地域環境への配慮	1 雨水排水負荷低減	-	-	4.0	0.50	-	2.2
	2 汚水処理負荷抑制	-	-		0.50	-	
	3 交通負荷抑制	-	-		0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	4.0	0.50		-	-	
		4.0	0.50		-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40		-	-	
	1 騒音	3.0	0.33		-	-	
	2 振動	3.0	0.33		-	-	
	3 悪臭	3.0	0.33		-	-	
					-	-	
3.2 風害・日照阻害の抑制	1 風害の抑制	3.0	0.40	-	-	-	3.1
	2 日照阻害の抑制	3.0	0.70		-	-	
		3.0	0.30		-	-	
		3.7	0.20		-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70		-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-	
照明天が高くなうような器具又は設置をし照明天も適切なものとした。広告照明についても周間に配慮した計画とした。							